

整形外科用

平成23年度厚生労働科学研究費補助金【第3次対がん総合戦略研究事業】
 がん対策推進基本計画とがん診療連携拠点病院の小児がん診療体制への適用に関する研究
 調査票

記入者： _____ 記入日： 2011/ ____ / ____
 施設名： _____ 科名： _____

1. 施設について

1	がん診療連携拠点病院の指定	国指定都道府県拠点・国指定地域拠点・都道府県指定拠点・いずれでもない
2	総病床数をお答えください	300未満・300-499・500-999・1000以上
3	DPC病院ですか。	はい・いいえ
4	電子カルテを導入していますか。	はい・いいえ
5	医療機能評価を受審していますか。	はい・いいえ

2. 小児悪性骨軟部腫瘍診療実績について(小児とは20歳以下の思春期、若年成人も含みます)

1	整形外科で診療した年間の新規症例(再発も含みますが、延べ数ではありません)の概数をお答えください。	
a	骨肉腫	0・1-5・6-10・11-15・16-20・>20
b	横紋筋肉腫	0・1-5・6-10・11-15・16-20・>20
c	滑膜肉腫	0・1-5・6-10・11-15・16-20・>20
d	ユーイング肉腫/PNET	0・1-5・6-10・11-15・16-20・>20
e	線維肉腫	0・1-5・6-10・11-15・16-20・>20
f	その他の骨軟部悪性腫瘍(骨巨細胞腫、デスマイドを含む)	0・1-5・6-10・11-15・16-20・>20

3. 診療体制について

1	小児悪性骨軟部腫瘍の診療を行っていますか。	はい・いいえ
上記1で「いいえ」の場合は「4. 小児悪性骨軟部腫瘍診療の今後の予定」まで進んで下さい。		
2	骨軟部肉腫を診療する診療科として独立していますか？	はい・いいえ
3	骨軟部肉腫を専門的に診療する整形外科の人数をお答えください。	[]名
4	化学療法は主にどの診療科が行っていますか。	整形外科・小児科・両方・どちらも行っていない
5	以下の診療科の有無についてお答えください。	
a	小児腫瘍科	診療科としてある・診療科ではないが専門診療可能・診療体制はない
b	小児外科	診療科としてある・診療科ではないが専門診療可能・診療体制はない
c	放射線治療科	診療科としてある・診療科ではないが専門診療可能・診療体制はない
6	小児の放射線治療は可能ですか	はい・いいえ
7	集学的診療体制で診療が行われていますか。(小児科、内科、放射線科と診療連携が行われている)	はい・いいえ
8	小児がんを対象にした関連科複数科にまたがるカンファレンス	あり・なし
9	専従病理医(病理全般)はいますか。	いる・いない
10	放射線治療専門医	専従・診断と兼務・非常勤
11	長期フォローアップを行っていますか。	はい・いいえ・小児科が行っている
12	以下のがん登録を行っていますか	
a	院内がん登録	はい・いいえ
b	地域がん登録	はい・いいえ
c	日本整形外科学会全国骨軟部腫瘍登録	はい・いいえ
d	小児がん学会登録	はい・いいえ
e	全国小児がん登録	はい・いいえ

4. 小児悪性骨軟部腫瘍診療の今後の予定について

1	今後積極的に症例を増やしていきたい。	はい・いいえ
2	現状維持でよい。	はい・いいえ
3	今後、取り扱いをやめたい/取り扱い予定はない。	はい・いいえ
4	上記のその理由	自由記載

5. 小児固形腫瘍診療の今後の診療体制について

1	現在、厚生労働省のがん対策推進協議会や日本小児がん学会では、小児がん患者を拠点病院に集約化する方向性がありますが、集約化には賛成でしょうか。	賛成・反対・どちらとも言えない
2	上記のその理由	自由記載

脳神経外科用

平成23年度厚生労働科学研究費補助金【第3次対がん総合戦略研究事業】
 がん対策推進基本計画とがん診療連携拠点病院の小児がん診療体制への適用に関する研究
 調査票

記入者： _____ 記入日： 2011/ ____ / ____
 施設名： _____ 科名： _____

1. 施設について

1	がん診療連携拠点病院の指定	国指定都道府県拠点・国指定地域拠点・都道府県指定拠点・いずれでもない
2	総病床数をお答えください	300未満・300-499・500-999・1000以上
3	DPC病院ですか。	はい・いいえ
4	電子カルテを導入していますか。	はい・いいえ
5	医療機能評価を受審していますか。	はい・いいえ

2. 小児脳腫瘍診療実績について(小児とは20歳以下の思春期、若年成人も含みます)

1	脳外科で診療した過去5年間の新規症例(再発も含みますが、延べ数ではありません)の概数をお答えください。	
a	髄芽腫/PNET	0・1-5・6-10・11-15・16-20・>20
b	胚細胞腫瘍	0・1-5・6-10・11-15・16-20・>20
c	星細胞系腫瘍(視神経膠腫を除く)	0・1-5・6-10・11-15・16-20・>20
d	視神経膠腫	0・1-5・6-10・11-15・16-20・>20
e	頭蓋咽頭腫	0・1-5・6-10・11-15・16-20・>20
f	上衣腫(退形成も含む)	0・1-5・6-10・11-15・16-20・>20
g	その他の脳腫瘍	0・1-5・6-10・11-15・16-20・>20
h	以上の小児脳腫瘍の合計数	0・1-5・6-10・11-15・16-20・>20

3. 診療体制について

1	小児脳腫瘍の診療を行っていますか。	はい・いいえ
上記1で「いいえ」の場合は「4. 小児脳腫瘍診療の今後の予定」まで進んで下さい。		
2	小児を専門に診療する診療科として独立していますか?	はい・いいえ
3	脳腫瘍を専門的に診療する脳外科医の人数をお答えください。	[]名
4	化学療法はどの診療科が行っていますか。	脳外科・小児科・両方・どちらも行ってない
5	以下の診療科の有無についてお答えください。	
a	小児腫瘍科	診療科としてある・診療科ではないが専門診療可能・診療体制はない
b	小児外科	診療科としてある・診療科ではないが専門診療可能・診療体制はない
c	放射線治療科	診療科としてある・診療科ではないが専門診療可能・診療体制はない
6	小児の放射線治療は可能ですか	はい・いいえ
7	保有する照射装置はどれですか	リニアック・トモセラピー・IMRT・ガンマナイフ・サイバーナイフ・なし
8	小児のIMRTは可能ですか	はい・いいえ
9	小児の定位照射は可能ですか	はい・いいえ
10	集学的診療体制で診療が行われていますか。(小児科、内科、放射線科と診療連携が行われている)	はい・いいえ
11	小児脳腫瘍を対象にした関連科複数科にまたがるカンファレンス	あり・なし
12	専従病理医(病理全般)はいますか。	いる・いない
13	放射線治療専門医	専従・診断と兼務・非常勤
14	長期フォローアップを行っていますか。	はい・いいえ・小児科が行っている
15	以下のがん登録を行っていますか	
a	院内がん登録	はい・いいえ
b	地域がん登録	はい・いいえ
c	脳腫瘍全国集計	はい・いいえ
d	小児がん学会登録	はい・いいえ
e	全国小児がん登録	はい・いいえ

4. 小児脳腫瘍診療の今後の予定について

1	今後積極的に症例を増やしていきたい。	はい・いいえ
2	現状維持でよい。	はい・いいえ
3	今後、取り扱いをやめたい/取り扱う予定はない。	はい・いいえ
4	上記のその理由	自由記載

5. 小児固形腫瘍診療の今後の診療体制について

1	現在、厚生労働省のがん対策推進協議会や日本小児がん学会では、小児がん患者を拠点病院に集約化する方向性にありますが、集約化には賛成でしょうか。	賛成・反対・どちらとも言えない
2	上記のその理由	自由記載

放射線科用

平成23年度厚生労働科学研究費補助金【第3次対がん総合戦略研究事業】
 がん対策推進基本計画とがん診療連携拠点病院の小児がん診療体制への適用に関する研究
 調査票

記入者： _____

記入日： 2011/ /

施設名： _____

科名： _____

1. 施設と診療体制について

1	がん診療連携拠点病院の指定	国指定都道府県拠点・国指定地域拠点・都道府県指定拠点・いずれでもない
2	小児の放射線治療は可能ですか	はい・いいえ
3	ガンマナイフ	鎮静の必要な小児にも可能・成人のみ・実施していない
4	サーバーナイフ	鎮静の必要な小児にも可能・成人のみ・実施していない
5	強度変調照射	鎮静の必要な小児にも可能・成人のみ・実施していない
6	放射線治療専門医	専従・診断と兼務・非常勤
7	専従医がおられる場合、何名でしょうか。	[]名
8	医学物理士	いる・いない
9	放射線治療専門放射線技師	いる・いない
10	鎮静が必要な場合、だれが鎮静処置を行っています	放射線科医・小児科医・麻酔科医
11	集学的診療体制で診療が行われていますか。	はい・いいえ
12	小児がんを対象としたカンサーボードが行われていますか。	はい・いいえ

2. 診療実績について

1	年間の小児の放射線治療初診症例(再発も含みますが、延べ数ではありません)の概数をお答えください。	
a	造血幹細胞移植前処置としての全身照射	0・1-5・6-10・11-15・16-20・>20
b	脳腫瘍	0・1-5・6-10・11-15・16-20・>20
c	骨軟部腫瘍	0・1-5・6-10・11-15・16-20・>20
d	その他の固形がん	0・1-5・6-10・11-15・16-20・>20
2	上記の合計は何例程度ですか。	0・1-5・6-10・11-15・16-20・>20

3. 今後の小児がん放射線治療に対する方向について

1	今後積極的に症例を増やしていきたい。	はい・いいえ
2	現状維持でよい	はい・いいえ
3	今後、取り扱いをやめたい／取り扱う予定はない。	はい・いいえ
4	小児の放射線治療はできればやりたくない。	はい・いいえ
5	上記の理由	自由記載
6	小児の放射線治療は集約化すべきとお考えでしょうか。	はい・いいえ
7	その理由	自由記載

小児内科 1 (送付: 174施設、回答: 147施設 回収率: 84.5%)

(施設数)

		1	2	3	4	5	6	その他	小計	無回答	総合計	
1	がん診療連携拠点病院の指定	1: 国指定都道府県拠点 2: 国指定地域拠点 3: 都道府県指定拠点 4: いずれでもない	29	34	33	26	0	0	0	122	25	147
2	日本骨髄バンクの移植認定施設ですか	1: はい 2: いいえ	95	52	0	0	0	0	147	0	147	
3	脐帯血バンクの移植認定施設ですか。		106	41	0	0	0	0	147	0	147	
4	DPC病院ですか。		134	13	0	0	0	0	147	0	147	
5	電子カルテを導入していますか。		110	37	0	0	0	0	147	0	147	
6	医療機能評価を受審していますか。		136	10	0	0	0	0	146	1	147	
7	ICUはありますか。		142	5	0	0	0	0	147	0	147	
8	PICUはありますか。	2: なし	30	115	0	0	0	1	146	1	147	
9	外来化学療法室の設置	1: 小児も実施 2: 成人のみ 3: 設置せず	62	75	10	0	0	0	147	0	147	
10	治験管理室が設置されていますか。	1: あり 2: なし	129	18	0	0	0	0	147	0	147	
11	治験コーディネーターはいますか。		123	24	0	0	0	0	147	0	147	
12	化学療法レジメンが院内のレジメン審査委員会で審査されていますか		127	20	0	0	0	0	147	0	147	
13	抗がん剤の適応外使用の審査手続きが、院内で規定されていますか	1: はい 2: いいえ	84	56	0	0	0	1	141	6	147	
14	がん薬物療法認定薬剤師はいますか。		106	35	0	0	0	0	141	6	147	
15	がん化学療法認定看護師はいますか。		123	22	0	0	0	0	145	2	147	

2. 診療実績について

小児科で診療した年間の新規症例(再発も含みますが、延べ数ではありません)の概数をお答えください。

1	a 造血器腫瘍	1: 0	7	55	38	23	13	8	3	147	0	147
	b 脳腫瘍	2: 1-5	41	91	9	2	2	1	0	146	1	147
	c 骨軟部腫瘍	3: 6-10	45	92	6	3	0	0	0	146	1	147
	d その他の固形がん	4: 11-15	31	84	21	6	0	3	0	145	2	147
	同種移植の年間の概数をお答えください。	5: 16-20	51	51	25	9	6	3	2	147	0	147
		6: >20										
3	悪性腫瘍の臨床試験に参加していますか。	1: している 2: していない	135	12	0	0	0	0	0	147	0	147
4	上記の年間登録数は合計何例程度ですか。	1: 0 2: 1-5 3: 6-10 4: 11-15 5: 16-20 6: >20	10	49	30	25	7	18	3	142	5	147

3. 診療体制について

以下の診療科の有無についてお答えください。

1	小児血液腫瘍科として独立していますか?	1: はい 2: いいえ	22	125	0	0	0	0	0	147	0	147
2	a 小児外科	1: 診療科としてある 2: 診療科ではないが 専門診療可能 3: 診療体制はない	91	27	29	0	0	0	0	147	0	147
	b 脳神経外科(小児脳腫瘍に対応可能な)		116	14	17	0	0	0	0	147	0	147
	c 整形外科(小児骨軟部腫瘍に対応可能な)		95	16	36	0	0	0	0	147	0	147
	d 小児内分泌科		14	117	16	0	0	0	0	147	0	147
	e 児童精神科		20	79	47	0	0	0	0	146	1	147
	f 放射線治療科		95	44	8	0	0	0	0	147	0	147
	g 小児循環器科		27	104	15	0	0	0	0	146	1	147
	h 感染制御部		1: あり 2: なし	129	18	0	0	0	0	147	0	147
3	小児の放射線治療は可能ですか	1: はい 2: いいえ	137	10	0	0	0	0	0	147	0	147
4	ガンマナイフ	1: 鎖骨の必要な小児にも可能	23	7	113	0	0	0	1	144	3	147
5	サーバーナイフ	2: 成人のみ	12	6	124	0	0	0	2	144	3	147
6	強度変調照射	3: 実施していない	44	14	86	0	0	0	1	145	2	147
7	小児救急診療体制	1: 1次 2: 2次 3: 3次 4: かかりつけのみ	3	23	59	15	0	0	47	147	0	147
8	通院患者の緊急入院は24時間いつでも可能ですか	1: はい 2: いいえ	140	6	0	0	0	0	0	146	1	147
9	小児血液腫瘍専従の担当医の人数をお答えください。	[]名	20	32	22	22	14	13	0	123	24	147
10	集学的診療体制で診療が行われていますか。	1: はい 2: いいえ	133	13	0	0	0	0	0	146	1	147
11	小児がんを対象としたキャンサーボードが行われています		94	53	0	0	0	0	0	147	0	147
12	専従病理医はいますか。	1: いる 2: いない	136	11	0	0	0	0	0	147	0	147
13	放射線治療専門医	1: 専従 2: 診断と兼務 3: 非常勤	107	17	20	0	0	0	2	146	1	147
14	放射線物理士はいますか。	1: いる 2: いない	85	55	0	0	0	0	0	140	7	147
15	診療録管理士はいますか。		127	17	0	0	0	0	1	145	2	147

緩和ケア

16	a 緩和ケア医はいますか。	1: 専従 2: 診断と兼務 3: 非常勤	68	68	3	0	0	0	2	141	6	147
	b 緩和ケアチームは設置されていますか。	1: あり 2: なし	138	8	0	0	0	0	0	146	1	147

c	小児を診療する緩和ケアチームはありますか。	1:小児専用のチーム 2:成人と兼用 3:小児は対象外	10	111	19	0	0	0	0	1	141	6	147
d	緩和ケア担当医は緩和ケア講習会を受講していますか?		132	9	0	0	0	0	0	0	141	6	147
e	緩和ケア担当医は小児緩和ケア講習会を受講していますか?	1:はい 2:いいえ	34	103	0	0	0	0	0	0	137	10	147

緩和ケアチームの構成員について

17	a	臨床心理士はいますか。		97	44	0	0	0	0	0	141	6	147
	b	精神科医はいますか。		125	16	0	0	0	0	0	141	6	147
	c	がん性疼痛認定看護師	1:いる 2:いない	85	55	0	0	0	0	1	141	6	147
	d	ホスピスケア認定看護師		56	81	0	0	0	0	2	139	8	147
	e	薬剤師		136	5	0	0	0	0	0	141	6	147
	f	栄養士		113	28	0	0	0	0	0	141	6	147

がん登録

18	a	院内がん登録		122	24	0	0	0	0	0	146	1	147
	b	小児血液学会登録	1:はい 2:いいえ	146	1	0	0	0	0	0	147	0	147
	c	小児がん学会登録		133	12	0	0	0	0	0	145	2	147
	d	全国小児がん登録		112	29	0	0	0	0	0	141	6	147
19		長期フォローアップを行っていますか。	1:はい 2:いいえ	145	2	0	0	0	0	0	147	0	147
20		長期フォローアップ外来が設置されていますか。	1:あり 2:なし	52	94	0	0	0	0	0	146	1	147
21		長期フォローアップは何歳まで対応可能ですか。	1:0歳まで 2:特に制限はない	0	137	0	0	0	0	10	147	0	147
22		小児がんに対するセカンドオピニオンを行っていますか。	1:はい 2:いいえ	124	23	0	0	0	0	0	147	0	147

小児がん登録 集計

1	2008年	合計: 644件	回答施設: 105施設
2	2009年	合計: 685件	回答施設: 105施設

(施設数)

小児内科 2 (送付: 174施設、回答: 144施設 回収率: 82.7%)

0 1 2 3 4 5 6 その他 小 計 無回答 総合計

1. 診療

1: 病床数	3	内腫床数	1: 不足 2: 1-5 3: 6-10 4: 11-15 5: 16以上	0	73	13	11	14	31	0	1	143	1	144
2: 診療対象悪性疾患	1	a 造血管		0	144	0	0	0	0	0	0	144	0	144
		b 小児外科		33	111	0	0	0	0	0	0	144	0	144
		c 眼科	0: なし 1: あり	85	59	0	0	0	0	0	0	144	0	144
		d 整形外科		67	77	0	0	0	0	0	0	144	0	144
		e 脳外科		47	97	0	0	0	0	0	0	144	0	144
	2	診療対象年齢 (初発)	1: 0-15,16才 2: 0-18,19才 3: 0-20才 4: 不定 5: 制限なし 6: その他		71	40	10	1	3	0	16	141	3	144
3: フォローアップについて	1	対象年齢上限の有無	0: なし 1: あり	136	6	0	0	0	0	0	0	142	2	144
	2	対象年齢上限年齢	1: 20才 2: 25才	0	4	1	0	0	0	0	0	5	1	6
	3	長期フォローアップ外来	0: なし 1: あり	77	64	0	0	0	0	0	0	141	3	144
5: 自施設TB I				0	126	18	0	0	0	0	0	144	0	144
4. 常勤医・非常勤医、関連診療科の体制について														
1 常勤医・非常勤医 (施設責任者、実務代表者を除く)	b	小児血液・腫瘍担当医数	名	1	19	24	29	21	18	13	16	141	3	144
	c	非常勤医数	名	36	13	9	14	7	14	4	34	131	13	144
	d	小児血液・腫瘍担当医数	名	79	25	17	6	1	1	0	2	131	13	144
					5	125	14	0	0	0	0	0	144	0
2 関連診療科の体制	a	放射線治療医		5	125	14	0	0	0	0	0	144	0	144
	b	小児外科医	0: なし 1: あり / 常勤 2: あり / 非常勤	27	100	16	0	0	0	0	0	143	1	144
	c	麻酔医		1	142	1	0	0	0	0	0	144	0	144
5. 患児家族、情報端末について														
2 院内学級について	1	院内学級		19	124	0	0	0	0	0	0	143	1	144
	2-a	小学校	0: なし 1: あり	0	72	0	0	0	0	0	0	72	52	124
	2-b	中学校		5	67	0	0	0	0	0	0	72	52	124
3 家族用宿泊施設について	1	家族用宿泊施設	0: なし 1: あり	79	64	0	0	0	0	0	0	143	1	144
	2	場所	1: 敷地内 2: 近隣	0	16	34	0	0	0	0	1	51	13	64
	2-a	保育士		9	97	0	0	0	0	0	0	106	2	108
	2-b	CLS, HPS	0: なし 1: あり	119	21	2	0	0	0	0	0	142	2	144
	2-c	CLS		86	20	0	0	0	0	0	0	106	0	106
	2-d	HPS		101	5	0	0	0	0	0	0	106	0	106
5		臨床心理士 (小児専任)	0: なし 1: あり	70	74	0	0	0	0	0	0	144	0	144

小児外科 (送付：140施設、回答：103施設 回収率：73.5%)

(施設数)

1. 施設について		1	2	3	4	5	6	その他	小計	無回答	総計	
1	がん診療連携拠点病院の指定	1:国指定都道府県拠点 2:国指定地域拠点 3:都道府県指定拠点 4:いずれでもない	25	24	19	20	0	0	2	90	13	103
2	総病床数をお答えください	1:300未満 2:300-499 3:500-999 4:1000以上	13	17	52	21	0	0	0	103	0	103
4	DPC病院ですか。		95	7	0	0	0	0	102	1	103	
5	電子カルテを導入していますか。(オーダリングのみは除く)	1:はい 2:いいえ	72	29	0	0	0	0	101	2	103	
6	医療機能評価を受審していますか。		92	8	0	0	0	0	100	3	103	
2. 悪性固形腫瘍の診療実績について												
1	小児外科で診療した年間の新規症例(再発も含みますが、延べ数ではありません)の概数をお答えください。	a 神経芽腫 b 悪性腎腫瘍 c 軟部肉腫 d 悪性肝腫瘍 e その他の悪性固形腫瘍(成熟奇形腫などの良性腫瘍は除く)	40	54	9	0	0	0	0	103	0	103
		1:0 2:1-5 3:6-10 4:11-15 5:16-20 6:>20	49	51	1	0	0	0	0	101	2	103
			54	45	1	0	0	0	1	101	2	103
			47	54	0	0	0	0	1	102	1	103
			41	57	3	1	0	0	0	102	1	103
2	悪性腫瘍の臨床試験(JNBSG, JWITS, JPPT等)に参加していますか。	1:している 2:していない	68	33	0	0	0	0	0	101	2	103
3	その臨床試験の年間登録数は合計何例程度ですか。	1:0 2:1-5 3:6-10 4:11-15 5:16-20 6:>20	30	46	9	5	0	0	0	90	13	103
3. 診療体制について												
3で「いいえ」の場合は「4. 小児固形腫瘍の今後の予定」まで進んで下さい。												
1	小児外科(診療科または講座)として独立していますか?	1:はい 2:いいえ	90	13	0	0	0	0	0	103	0	103
2	小児外科専従の担当医の人数をお答えください。	[]名	11	26	19	16	8	7	16	103	0	103
3	小児固形腫瘍の診療を行っていますか。	1:はい 2:いいえ	75	28	0	0	0	0	0	103	0	103
→3で「いいえ」の場合は「4. 小児固形腫瘍の今後の予定」まで進んで下さい。												
4	化学療法はどの診療科が行っていますか。	1:小児外科 2:小児科 3:両方 4:どちらも行っていない	5	57	5	11	0	0	0	78	25	103
5	小児腫瘍科	1:診療科としてある 2:診療科ではないが専門診療可能 3:診療体制はない	12	46	20	0	0	0	0	78	25	103
	放射線治療科		37	34	6	0	0	0	0	77	26	103
6	小児の放射線治療は可能ですか		71	7	0	0	0	0	0	78	25	103
7	集学的診療体制で診療が行われていますか(小児科、放射線科などと診療連携が行われている)	1:はい 2:いいえ	66	12	0	0	0	0	0	78	25	103
8	小児がんを対象にした関連科複数科にまたがるカンファレンス	1:あり 2:なし	58	19	0	0	0	0	0	77	26	103
9	専従病理医(病理全般)はいますか。	1:いる 2:いない	75	3	0	0	0	0	0	78	25	103
10	放射線治療専門医	1:専従 2:診断と兼務 3:非常勤	45	24	6	0	0	0	0	75	28	103
11	長期フォローアップを行っていますか。	1:はい 2:いいえ 3:小児科が行っている	55	2	20	0	0	0	1	78	25	103
12	がん登録	a 院内がん登録 b 地域がん登録 c 小児外科悪性腫瘍登録 d 小児がん学会登録 e 全国小児がん登録	58	18	0	0	0	0	0	76	27	103
			51	22	0	0	0	0	0	73	30	103
		1:はい 2:いいえ	72	5	0	0	0	0	0	77	26	103
			63	13	0	0	0	0	0	76	27	103
			58	19	0	0	0	0	0	77	26	103
4. 小児固形腫瘍診療の今後の予定について												
1	今後積極的に症例を増やしていきたい。		57	35	0	0	0	0	0	92	11	103
2	現状維持でよい。	1:はい 2:いいえ	43	31	0	0	0	0	0	74	29	103
3	今後、取り扱いをやめたい。		5	57	0	0	0	0	0	62	41	103
4	上記のその理由		別紙に回答あり									
5. 小児固形腫瘍診療の今後の診療体制について												
1	現在、厚生労働省のがん対策推進協議会や日本小児がん学会では、小児がん患者を拠点病院に集約化する方向性がありますが、集約化には賛成でしょうか。	1:賛成 2:反対 3:どちらとも言えない	75	1	26	0	0	0	0	102	1	103
2	上記のその理由		別紙に回答あり									

整形外科 (送付：127施設、回答：93施設 回収率：73.2%)

(施設数)

		1	2	3	4	5	6	その他	小計	無回答	総合計	
1. 施設について												
1	がん診療連携拠点病院の指定	1: 国指定都道府県拠点 2: 国指定地域拠点 3: 都道府県指定拠点 4: いずれでもない	37	18	19	12	0	0	0	86	7	93
2	総病床数をお答えください	1: 300未満 2: 300-499 3: 500-999 4: 1000以上	9	15	51	17	0	0	0	92	1	93
3	DPC病院ですか。		85	8	0	0	0	0	0	93	0	93
4	電子カルテを導入していますか。	1: はい 2: いいえ	65	28	0	0	0	0	0	93	0	93
5	医療機能評価を受審していますか。		84	9	0	0	0	0	0	93	0	93
2. 小児悪性骨軟部腫瘍診療実績について (小児とは20歳以下の思春期、若年成人も含まれます)												
1 整形外科で診療した年間の新規症例 (再発も含みますが、延べ数ではありません)の概数をお答えください。	a	骨肉腫	19	67	5	2	0	0	0	93	0	93
	b	横紋筋肉腫	58	35	0	0	0	0	0	93	0	93
	c	滑膜肉腫	45	47	1	0	0	0	0	93	0	93
	d	ユースング肉腫/PNET	38	55	0	0	0	0	0	93	0	93
	e	線維肉腫	60	32	1	0	0	0	0	93	0	93
	f	その他の骨軟部悪性腫瘍 (骨巨細胞腫、デスマイドを含む)	26	40	14	2	2	6	0	90	3	93
3. 診療体制について												
3-1が「いいえ」の場合は「4. 小児悪性骨軟部腫瘍診療の今後の予定」まで進んで下さい。												
1	小児悪性骨軟部腫瘍の診療を行っていますか。	1: はい 2: いいえ	82	10	0	0	0	0	0	92	1	93
2	骨軟部肉腫を診療する診療科として独立していますか?	1: はい 2: いいえ	21	61	0	0	0	0	0	82	11	93
3	骨軟部肉腫を専門的に診療する整形外科の人数をお答えください。	名	22	21	23	7	5	2	2	82	11	93
4	化学療法は主にどの診療科が行っていますか。	1: 整形外科 2: 小児科 3: 両方 4: どちらも行っていない	32	21	25	5	0	0	0	83	10	93
5 以下の診療科の有無についてお答えください。	a	小児腫瘍科	6	44	34	0	0	0	0	84	9	93
	b	小児外科	37	19	28	0	0	0	0	84	9	93
	c	放射線治療科	56	22	6	0	0	0	0	84	9	93
6	小児の放射線治療は可能ですか	1: はい 2: いいえ	78	4	0	0	0	0	0	82	11	93
7	集学的診療体制で診療が行われていますか。(小児科、内科、放射線科と診療連携が行われている)	1: はい 2: いいえ	64	18	0	0	0	0	0	82	11	93
8	小児がんを対象にした関連科複数科にまたがるカンファレンス	1: あり 2: なし	38	45	0	0	0	0	0	83	10	93
9	専従病理医 (病理全般) はいですか。	1: いる 2: いない	78	6	0	0	0	0	0	84	9	93
10	放射線治療専門医	1: 専従 2: 診断と兼務 3: 非常勤	74	2	4	0	0	0	0	80	13	93
11	長期フォローアップを行っていますか。	1: はい 2: いいえ 3: 小児科が行っている	77	4	1	0	0	0	1	83	10	93
12 以下のがん登録を行っていますか	a	院内がん登録	70	11	0	0	0	0	0	81	12	93
	b	地域がん登録	48	32	0	0	0	0	0	80	13	93
	c	日本整形外科学会全国骨軟部腫瘍登録	72	11	0	0	0	0	0	83	10	93
	d	小児がん学会登録	20	62	0	0	0	0	0	82	11	93
	e	全国小児がん登録	20	62	0	0	0	0	0	82	11	93
4. 小児悪性骨軟部腫瘍診療の今後の予定について												
1	今後積極的に症例を増やしていきたい。		43	40	0	0	0	0	1	84	9	93
2	現状維持でよい。	1: はい 2: いいえ	53	29	0	0	0	0	0	82	11	93
3	今後、取り扱いをやめたい/取り扱う予定はない。		12	62	0	0	0	0	0	74	19	93
4	上記のその理由		別紙に回答あり									
5. 小児固形腫瘍診療の今後の診療体制について												
1	現在、厚生労働省のがん対策推進協議会や日本小児がん学会では、小児がん患者を拠点病院に集約化する方向性にありますが、集約化には賛成でしょうか。	1: 賛成 2: 反対 3: どちらとも言えない	63	0	28	0	0	0	0	91	2	93
2	上記のその理由		別紙に回答あり									

脳神経外科 (送付：200施設、回答：124施設 回収率：62.0%)

(施設数)

1. 施設について

			1	2	3	4	5	6	その他	小計	無回答	総合計
1	がん診療連携拠点病院の指定	1: 国指定都道府県拠点 2: 国指定地域拠点 3: 都道府県指定拠点 4: いずれでもない	29	35	25	17	0	0	0	106	18	124
2	総病床数をお答えください	1: 300未満 2: 300-499 3: 500-999 4: 1000以上	9	20	79	16	0	0	0	124	0	124
3	DPC病院ですか。		111	12	0	0	0	0	0	123	1	124
4	電子カルテを導入していますか。	1: はい 2: いいえ	97	27	0	0	0	0	0	124	0	124
5	医療機能評価を受審していますか。		113	10	0	0	0	0	0	123	1	124

2. 小児脳腫瘍腫瘍診療実績について (小児とは20歳以下の思春期、若年成人も含みます)

1			32	66	19	5	1	1	0	124	0	124
脳外科で診療した過去5年間の新規症例(再発も含まれますが、延べ数ではありません)の概数をお答えください。	a	髄芽腫/PNET	32	66	19	5	1	1	0	124	0	124
	b	胚細胞腫瘍	24	65	23	6	2	4	0	124	0	124
	c	星細胞系腫瘍(視神経膠腫を除く)	16	60	22	13	5	8	0	124	0	124
	d	視神経膠腫	65	49	6	0	0	3	0	123	1	124
	e	頭蓋咽頭腫	40	58	19	4	1	1	0	123	1	124
	f	上衣腫(退形成も含む)	38	67	16	0	1	1	0	123	1	124
	g	その他の脳腫瘍	20	64	20	4	4	9	0	121	3	124
	h	以上の小児脳腫瘍の合計数	10	24	13	15	12	44	0	118	6	124

3. 診療体制について

問い1が「いいえ」の場合は「4. 小児脳腫瘍診療の今後の予定」まで進んで下さい。

1	小児脳腫瘍の診療を行っていますか。	1: はい 2: いいえ	111	13	0	0	0	0	0	124	0	124
2	小児を専門に診療する診療科として独立していますか?		24	89	0	0	0	0	0	113	11	124
3	脳腫瘍を専門的に診療する脳外科医の人数をお答えください。	名	9	20	21	16	19	6	20	111	13	124
4	化学療法はどの診療科が行っていますか。	1: 脳外科 2: 小児科 3: 両方 4: どちらも行っていない	23	32	53	5	0	0	0	113	11	124
5 診療科の有無についてお答えください。	a	小児腫瘍科	18	68	28	0	0	0	0	114	10	124
	b	小児外科	65	35	14	0	0	0	0	114	10	124
	c	放射線治療科	74	35	5	0	0	0	0	114	10	124
6	小児の放射線治療は可能ですか	1: はい 2: いいえ	109	5	0	0	0	0	0	114	10	124
7	保有する照射装置はどれですか(複数回答あり)	1: リニアック 2: トモセラピー 3: IMRT 4: ガンマナイフ 5: サイバーナイフ 6: なし	104	0	0	0	0	0	0	104	20	124
8	小児のIMRTは可能ですか		44	68	0	0	0	0	0	112	12	124
9	小児の定位照射は可能ですか	1: はい 2: いいえ	60	54	0	0	0	0	0	114	10	124
10	集学的診療体制で診療が行われていますか。(小児科、内科、放射線科と診療連携が行われている)		100	9	0	0	0	0	0	109	15	124
11	小児脳腫瘍を対象にした関連科複数科にまたがるカンファレンス	1: あり 2: なし	51	59	0	0	0	0	0	110	14	124
12	専従病理医(病理全般)はいますか。	1: いる 2: いない	104	7	0	0	0	0	0	111	13	124
13	放射線治療専門医	1: 専従 2: 診断と兼務 3: 非常勤	85	11	15	0	0	0	0	111	13	124
14	長期フォローアップを行っていますか。	1: はい 2: いいえ 3: 小児科が行っている	99	3	9	0	0	0	0	111	13	124
15 がん登録	a	院内がん登録	87	22	0	0	0	0	0	109	15	124
	b	地域がん登録	69	38	0	0	0	0	0	107	17	124
	c	脳腫瘍全国集計	87	25	0	0	0	0	0	112	12	124
	d	小児がん学会登録	41	65	0	0	0	0	0	106	18	124
	e	全国小児がん登録	37	67	0	0	0	0	0	104	20	124

4. 小児脳腫瘍診療の今後の予定について

1	今後積極的に症例を増やしていきたい。	1: はい 2: いいえ	81	35	0	0	0	0	0	116	8	124
2	現状維持でよい。		45	56	0	0	0	0	0	101	23	124
3	今後、取り扱いをやめたい/取り扱う予定はない。		10	85	0	0	0	0	0	95	29	124
4	上記のその理由		別紙に回答あり									

5. 小児固形腫瘍診療の今後の診療体制について

1	現在、厚生労働省のがん対策推進協議会や日本小児がん学会では、小児がん患者を拠点病院に集約化する方向性にありますが、集約化には賛成でしょうか。	1: 賛成 2: 反対 3: どちらとも言えない	90	2	27	0	0	0	0	119	5	124
2	上記のその理由		別紙に回答あり									

放射線科 (送付：113施設、回答：76施設 回収率：67.2%)

(施設数)

1. 施設と診療体制について

			1	2	3	4	5	6	その他	小計	無回答	総合計
1	がん診療連携拠点病院の指定	1：国指定都道府県拠点、 2：国指定地域拠点 3：都道府県指定拠点 4：いずれでもない	22	22	17	9	0	0	0	70	6	76
2	小児の放射線治療は可能ですか	1：はい 2：いいえ	72	3	0	0	0	0	1	76	0	76
3	ガンマナイフ		3	1	69	0	0	0	3	76	0	76
4	サーバーナイフ	1：鎮静の必要な 小児にも可能 2：成人のみ 3：実施していない	3	2	69	0	0	0	2	76	0	76
5	強度変調照射		24	28	22	0	0	0	2	76	0	76
6	放射線治療専門医	1：専従、 2：診断と兼務、 3：非常勤	71	0	5	0	0	0	0	76	0	76
7	専従医がおられる場合、何名でしょうか。	[]名	4	13	15	10	9	1	19	71	5	76
8	医学物理士		55	20	0	0	0	0	1	76	0	76
9	放射線治療専門放射線技師	1：いる 2：いない	70	5	0	0	0	0	1	76	0	76
10	鎮静が必要な場合、だれが鎮静処置を行っていますか。	1：放射線科医、 2：小児科医、 3：麻酔科医	0	59	4	0	0	0	13	76	0	76
11	集学的診療体制で診療が行われていますか。		67	9	0	0	0	0	0	76	0	76
12	小児がんを対象としたカンサーボードが行われていますか。	1：はい 2：いいえ	33	39	0	0	0	0	4	76	0	76

2. 診療実績について

1. 年間の小児の放射線治療初症例(再発も含みますが、延べ数ではありません)の概数をお答えください。	a	造血幹細胞移植前処置としての全身照射	23	33	13	5	0	0	2	76	0	76
	b	脳腫瘍	10	47	11	5	3	0	0	76	0	76
	c	骨軟部腫瘍	22	48	5	0	0	0	1	76	0	76
	d	その他の固形がん	20	44	8	1	0	2	1	76	0	76
2		上記の合計は何例程度ですか。	7	19	22	10	5	10	3	76	0	76

3. 今後の小児がん放射線治療に対する方向について

1	今後積極的に症例を増やしていきたい。		27	45	0	0	0	0	4	76	0	76
2	現状維持でよい		52	18	0	0	0	0	6	76	0	76
3	今後、取り扱いをやめたい/取り扱う予定はない。	1：はい 2：いいえ	6	60	0	0	0	0	10	76	0	76
4	小児の放射線治療はできればやりたくない。		11	58	0	0	0	0	7	76	0	76
5	上記の理由		別紙に回答あり									
6	小児の放射線治療は集約化すべきとお考えでしょうか。	1：はい 2：いいえ	68	2	0	0	0	0	6	76	0	76
7	その理由		別紙に回答あり									

アンケートにご協力頂いた施設

264施設 順不同

NO.	施設名	都道府県	NO.	施設名	都道府県
1	特定医療法人北楡会札幌北楡病院	北海道	26	東京慈恵会医科大学附属病院	東京都
2	独立行政法人国立病院機構 北海道がんセンター	北海道	27	国立大学法人 東京大学医科学研究所附属病院	東京都
3	北海道立こども総合医療・療育センター	北海道	28	順天堂大学医学部附属 順天堂医院	東京都
4	日鋼記念病院	北海道	29	東京医科歯科大学医学部附属病院	東京都
5	札幌医科大学附属病院	北海道	30	日本医科大学付属病院	東京都
6	国立大学法人 北海道大学病院	北海道	31	国立大学法人 東京大学医学部附属病院	東京都
7	旭川医科大学付属病院	北海道	32	がん・感染症センター 都立駒込病院	東京都
8	釧路市立釧路総合病院	北海道	33	東京女子医科大学東医療センター	東京都
9	国立大学法人 秋田大学医学部附属病院	秋田県	34	がん研究会 有明病院	東京都
10	中通総合病院	秋田県	35	NTT東日本関東病院	東京都
11	岩手県立中央病院	岩手県	36	昭和大学病院	東京都
12	岩手医科大学附属病院	岩手県	37	東邦大学医療センター大森病院	東京都
13	青森県立中央病院	青森県	38	日本赤十字社医療センター	東京都
14	国立病院機構弘前病院	青森県	39	国立病院機構東京医療センター	東京都
15	弘前大学医学部附属病院	青森県	40	東邦大学医療センター大橋病院	東京都
16	公立大学法人 福島県立医科大学附属病院	福島県	41	独立行政法人 国立成育医療研究センター	東京都
17	財)太田総合病院附属太田西ノ内病院	福島県	42	東京医科大学病院	東京都
18	国立大学法人 東北大学病院	宮城県	43	慶應義塾大学病院	東京都
19	仙台赤十字病院	宮城県	44	東京女子医科大学病院	東京都
20	仙台市立病院	宮城県	45	国立国際医療研究センター病院	東京都
21	地方独立行政法人 宮城県立こども病院	宮城県	46	社会保険中央総合病院	東京都
22	山形県立中央病院	山形県	47	帝京大学医学部附属病院	東京都
23	国立大学法人 山形大学医学部附属病院	山形県	48	日本大学医学部附属板橋病院	東京都
24	独立行政法人国立がん研究センター中央病院	東京都	49	順天堂大学附属練馬病院	東京都
25	聖路加国際病院	東京都	50	武蔵野赤十字病院	東京都

アンケートにご協力頂いた施設

264施設 順不同

NO.	施設名	都道府県	NO.	施設名	都道府県
51	杏林大学医学部付属病院	東京都	76	東京女子医科大学八千代医療センター	千葉県
52	東京都立小児総合医療センター	東京都	77	おおたかの森病院	千葉県
53	公立昭和病院	東京都	78	順天堂大学医学部附属浦安病院	千葉県
54	国家公務員共済組合連合会 立川病院	東京都	79	成田赤十字病院	千葉県
55	東京医科大学八王子医療センター	東京都	80	総合病院国保旭中央病院	千葉県
56	日本医大多摩永山病院	東京都	81	千葉県循環器病センター	千葉県
57	日本医科大学武蔵小杉病院	神奈川県	82	君津中央病院	千葉県
58	帝京大学溝口病院	神奈川県	83	医療法人鉄蕉会 亀田総合病院	千葉県
59	聖マリアンナ医科大学病院	神奈川県	84	東京ベイ・浦安市川医療センター	千葉県
60	昭和大学横浜市北部病院こどもセンター	神奈川県	85	帝京大学ちば総合医療センター	千葉県
61	昭和大学藤が丘病院	神奈川県	86	茨城県厚生農業協同組合連合会総合病院 土浦協同病院・茨城県地域がんセンター	茨城県
62	(公)横浜市立大学医学部附属市民総合医療センター	神奈川県	87	国立大学法人 筑波大学附属病院	茨城県
63	神奈川県立こども医療センター	神奈川県	88	茨城県厚生農業協同組合連合会 茨城西南医療センター病院	茨城県
64	済生会横浜市南部病院	神奈川県	89	茨城県立こども病院	茨城県
65	公立大学法人 横浜市立大学附属病院	神奈川県	90	栃木がんセンター	栃木県
66	聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院	神奈川県	91	獨協医科大学病院	栃木県
67	北里大学病院	神奈川県	92	自治医科大学とちぎ子ども医療センター 外科	栃木県
68	東海大学医学部付属病院	神奈川県	93	自治医科大学附属病院	栃木県
69	国立大学法人 千葉大学医学部附属病院	千葉県	94	自治医科大学さいたま医療センター	埼玉県
70	千葉県がんセンター	千葉県	95	川口市立医療センター	埼玉県
71	千葉県立こども病院	千葉県	96	さいたま市立病院	埼玉県
72	流山総合病院	千葉県	97	埼玉県立小児医療センター	埼玉県
73	日本医科大学千葉北総病院	千葉県	98	獨協医科大学越谷病院	埼玉県
74	国保松戸市立病院	千葉県	99	埼玉医科大学病院	埼玉県
75	東京歯科大学市川総合病院	千葉県	100	埼玉医科大学国際医療センター	埼玉県

アンケートにご協力頂いた施設

264施設 順不同

NO.	施設名	都道府県	NO.	施設名	都道府県
101	埼玉医科大学総合医療センター	埼玉県	126	愛知県がんセンター愛知病院	愛知県
102	防衛医科大学校病院	埼玉県	127	愛知県厚生農業協同組合連合会 安城更生病院	愛知県
103	行田総合病院	埼玉県	128	名鉄病院	愛知県
104	埼玉県立がんセンター	埼玉県	129	名古屋第一赤十字病院	愛知県
105	深谷赤十字病院	埼玉県	130	独立行政法人国立病院機構 名古屋医療センター	愛知県
106	日本赤十字社 前橋赤十字病院	群馬県	131	愛知県がんセンター	愛知県
107	群馬大学医学部附属病院	群馬県	132	名古屋市立東部医療センター	愛知県
108	桐生厚生総合病院	群馬県	133	名古屋大学医学部附属病院	愛知県
109	群馬県立小児医療センター	群馬県	134	名古屋第二赤十字病院	愛知県
110	長野県厚生農業協同組合連合会 佐久総合病院	長野県	135	名古屋市立大学病院	愛知県
111	国立大学法人 信州大学医学部附属病院	長野県	136	藤田保健衛生大学病院	愛知県
112	長野県立病院機構 長野県立こども病院	長野県	137	あいち小児保健医療総合センター	愛知県
113	山梨大学医学部附属病院	山梨県	138	愛知県心身障害者コロニー中央病院	愛知県
114	長岡赤十字病院	新潟県	139	愛知医科大学病院	愛知県
115	新潟県立中央病院	新潟県	140	小牧市民病院	愛知県
116	新潟市民病院	新潟県	141	岐阜市民病院	岐阜県
117	新潟大学医歯学総合病院	新潟県	142	地方独立行政法人 岐阜県総合医療センター	岐阜県
118	新潟県立がんセンター新潟病院	新潟県	143	国立大学法人 岐阜大学医学部附属病院	岐阜県
119	静岡県立静岡がんセンター	静岡県	144	社会医療法人厚生会 木沢記念病院	岐阜県
120	地方独立行政法人 静岡県立こども病院	静岡県	145	国立病院機構 三重病院	三重県
121	焼津市立総合病院	静岡県	146	国立大学法人 三重大学医学部附属病院	三重県
122	社会福祉法人聖隷福祉事業団総合病院 聖隷浜松病院	静岡県	147	滋賀医科大学医学部附属病院	滋賀県
123	浜松医科大学医学部附属病院	静岡県	148	大津赤十字病院	滋賀県
124	磐田市立総合病院	静岡県	149	近江八幡市立総合医療センター	滋賀県
125	豊橋市民病院	愛知県	150	財団法人田附興風会 北野病院	大阪府

アンケートにご協力頂いた施設

264施設 順不同

NO.	施設名	都道府県	NO.	施設名	都道府県
151	淀川キリスト教病院	大阪府	176	独立行政法人国立病院機構 舞鶴医療センター	京都府
152	大阪市立総合医療センター	大阪府	177	近畿大学医学部奈良病院	奈良県
153	中野こども病院	大阪府	178	国立病院機構奈良医療センター	奈良県
154	(地)大阪府立病院機構 大阪府立成人病センター	大阪府	179	奈良県立奈良病院	奈良県
155	独立行政法人国立病院機構 大阪医療センター	大阪府	180	天理よろづ相談所病院	奈良県
156	大阪赤十字病院	大阪府	181	奈良県立医科大学附属病院	奈良県
157	公立大学法人 大阪市立大学医学部附属病院	大阪府	182	奈良県総合リハビリテーションセンター	奈良県
158	豊中市立豊中病院	大阪府	183	日本赤十字社和歌山医療センター	和歌山県
159	大阪大学医学部附属病院	大阪府	184	和歌山県立医科大学附属病院	和歌山県
160	友誼会総合病院	大阪府	185	独立行政法人国立病院機構 南和歌山医療センター	和歌山県
161	医療法人愛仁会高槻病院	大阪府	186	国立大学法人 神戸大学医学部附属病院	兵庫県
162	大阪医科大学附属病院	大阪府	187	神戸市立医療センター中央市民病院	兵庫県
163	松下記念病院	大阪府	188	西神戸医療センター	兵庫県
164	関西医科大学附属枚方病院	大阪府	189	兵庫県立こども病院	兵庫県
165	近畿大学医学部附属病院	大阪府	190	兵庫県立塚口病院	兵庫県
166	近畿大学医学部堺病院	大阪府	191	兵庫医科大学病院	兵庫県
167	独立行政法人労働者健康福祉機構 大阪労災病院	大阪府	192	姫路赤十字病院	兵庫県
168	大阪府立母子保健総合医療センター	大阪府	193	兵庫県立がんセンター	兵庫県
169	地方独立行政法人 りんくう総合医療センター	大阪府	194	明石市立市民病院	兵庫県
170	京都府立医科大学附属病院	京都府	195	加古川市民病院	兵庫県
171	京都市立病院	京都府	196	福井大学医学部附属病院	福井県
172	京都第一赤十字病院	京都府	197	福井赤十字病院	福井県
173	国立大学法人 京都大学医学部附属病院	京都府	198	金沢医科大学病院	石川県
174	宇治徳洲会病院	京都府	199	石川県立中央病院	石川県
175	京都桂病院	京都府	200	国立大学法人 金沢大学附属病院	石川県

アンケートにご協力頂いた施設

264施設 順不同

NO.	施設名	都道府県	NO.	施設名	都道府県
201	加賀市民病院	石川県	226	独立行政法人国立病院機構 香川小児病院	香川県
202	国立大学法人 富山大学附属病院	富山県	227	稲山病院	徳島県
203	富山県立中央病院	富山県	228	国立大学法人 徳島大学病院	徳島県
204	砺波市立砺波総合病院	富山県	229	徳島赤十字病院	徳島県
205	鳥取県立中央病院	鳥取県	230	高知赤十字病院	高知県
206	鳥取県立厚生病院	鳥取県	231	高知県・高知市病院企業団立 高知医療センター	高知県
207	国立大学法人 鳥取大学医学部附属病院	鳥取県	232	国立大学法人 高知大学医学部附属病院	高知県
208	国立病院機構米子医療センター	鳥取県	233	愛媛県立中央病院	愛媛県
209	国立大学法人 島根大学医学部附属病院	島根県	234	南松山病院	愛媛県
210	国立大学法人 岡山大学病院	岡山県	235	国立病院機構 四国がんセンター	愛媛県
211	川崎医科大学附属病院	岡山県	236	愛媛大学医学部附属病院	愛媛県
212	独立行政法人国立病院機構 岡山医療センター	岡山県	237	労働者健康福祉機構 九州労災病院	福岡県
213	財団法人 倉敷中央病院	岡山県	238	北九州市立医療センター	福岡県
214	JA尾道総合病院	広島県	239	北九州市立八幡病院小児救急センター	福岡県
215	広島赤十字・原爆病院	広島県	240	産業医科大学病院	福岡県
216	広島市立広島市民病院	広島県	241	福岡市立こども病院・感染症センター	福岡県
217	広島県立広島病院	広島県	242	国立病院 九州医療センター	福岡県
218	国立大学法人 広島大学病院	広島県	243	独立行政法人国立病院機構 九州がんセンター	福岡県
219	国立病院機構呉医療センター 中国がんセンター	広島県	244	福岡市立病院機構 福岡市民病院	福岡県
220	独立行政法人国立病院機構 岩国医療センター	山口県	245	国立大学法人 九州大学病院	福岡県
221	下関市立中央病院	山口県	246	福岡大学病院	福岡県
222	国立病院機構関門医療センター	山口県	247	久留米大学病院	福岡県
223	国立大学法人 山口大学医学部附属病院	山口県	248	久留米大学 放射線治療センター	福岡県
224	香川県立中央病院	香川県	249	独立行政法人佐賀県立病院好生館	佐賀県
225	国立大学法人 香川大学医学部附属病院	香川県	250	国立大学法人 佐賀大学医学部附属病院	佐賀県

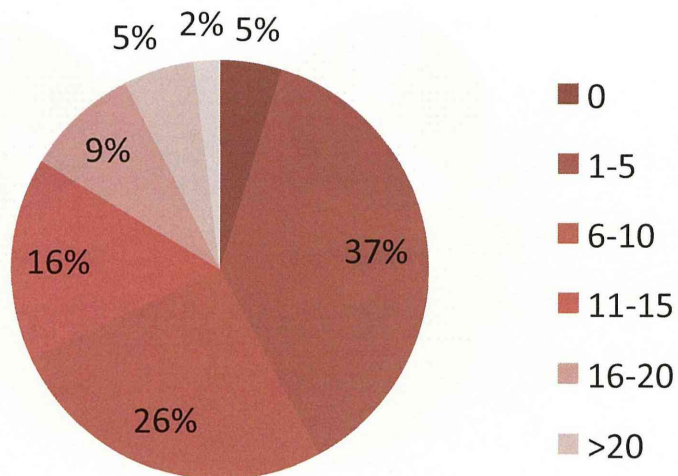
アンケートにご協力頂いた施設

264施設 順不同

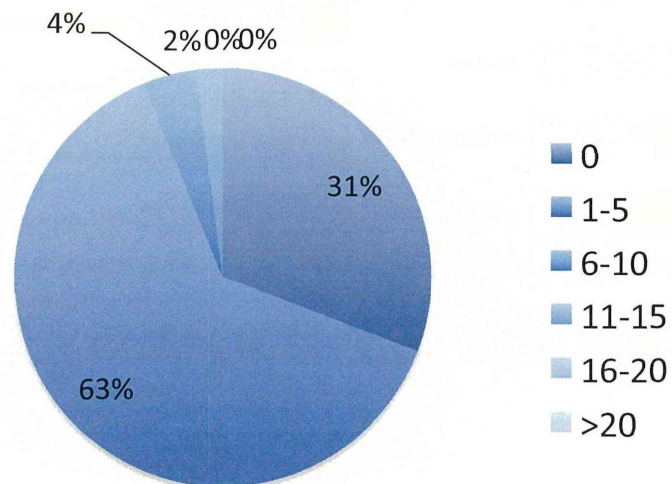
NO.	施設名	都道府県	NO.	施設名	都道府県
251	国立大学法人 長崎大学医学部歯学部付属病院	長崎県			
252	佐世保市立総合病院	長崎県			
253	独立行政法人国立病院機構 熊本医療センター	熊本県			
254	国立大学法人 熊本大学医学部附属病院	熊本県			
255	熊本赤十字病院	熊本県			
256	熊本市立熊本市民病院	熊本県			
257	熊本赤十字病院	熊本県			
258	大分県立病院	大分県			
259	国立大学法人 大分大学医学部附属病院	大分県			
260	国立大学法人 宮崎大学医学部附属病院	宮崎県			
261	国立大学法人 鹿児島大学医学部・歯学部附属病院	鹿児島県			
262	鹿児島市立病院	鹿児島県			
263	沖縄県立南部医療センター・こども医療センター	沖縄県			
264	国立大学法人 琉球大学医学部附属病院	沖縄県			

日本小児白血病リンパ腫グループ参加施設へのアンケート 1施設あたり各疾患年間症例数

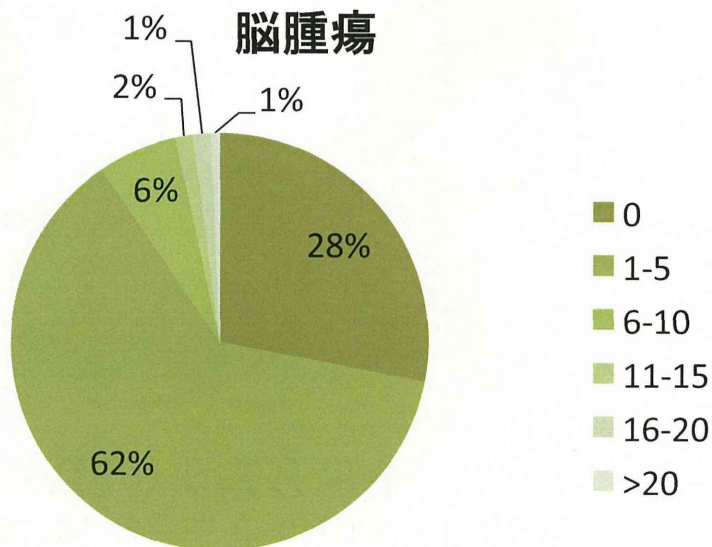
造血器腫瘍



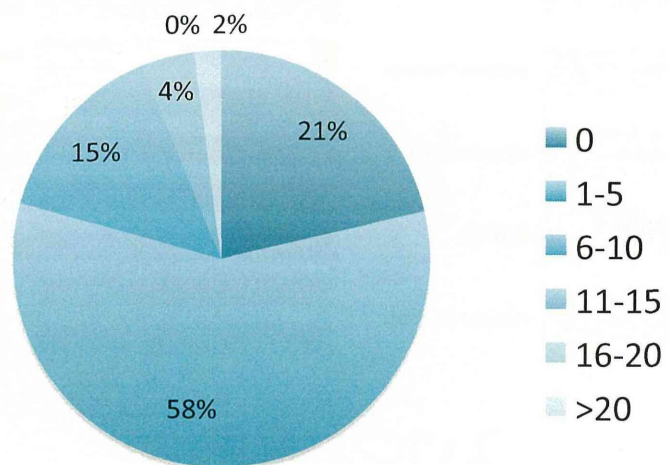
骨軟部腫瘍



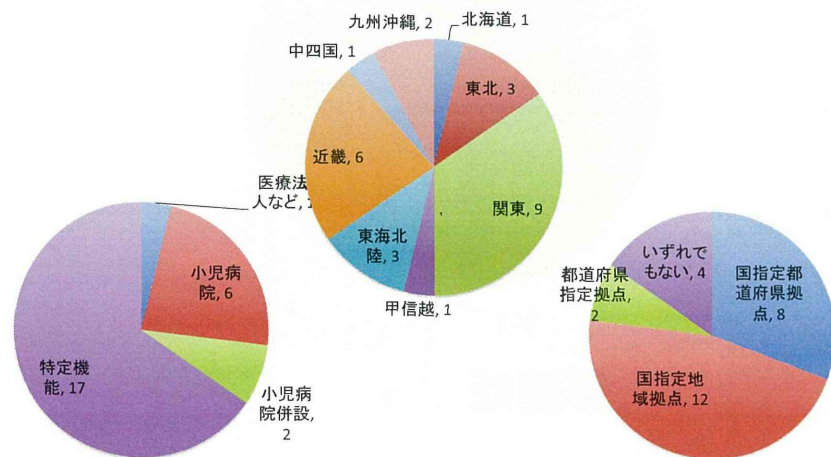
脳腫瘍



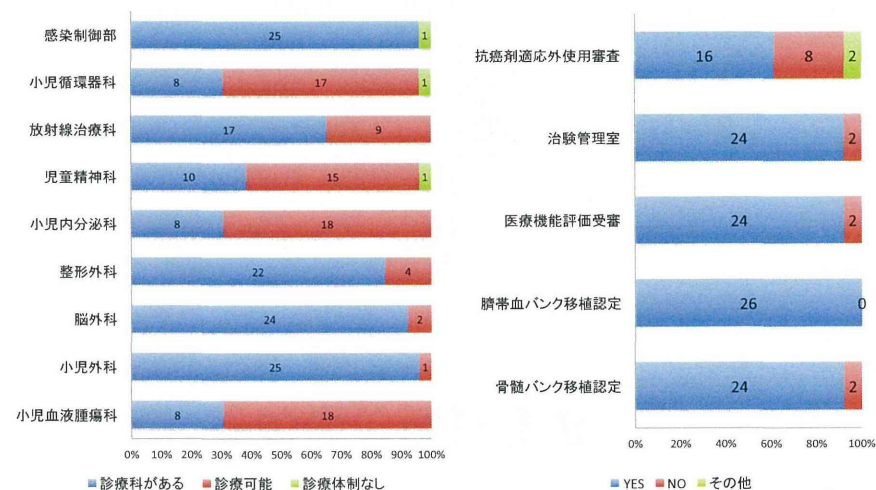
その他の固形腫瘍



これらの要件に適合すると考えられる 26施設の地域分布等

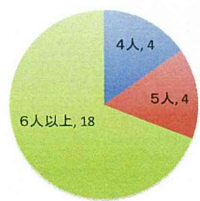


施設について

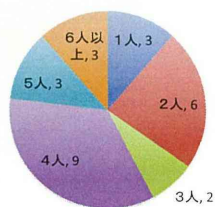


医師の配置状況について

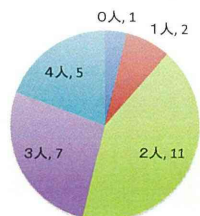
血液腫瘍担当常勤医



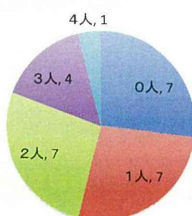
日本血液学会専門医



小児血液がん暫定指導医

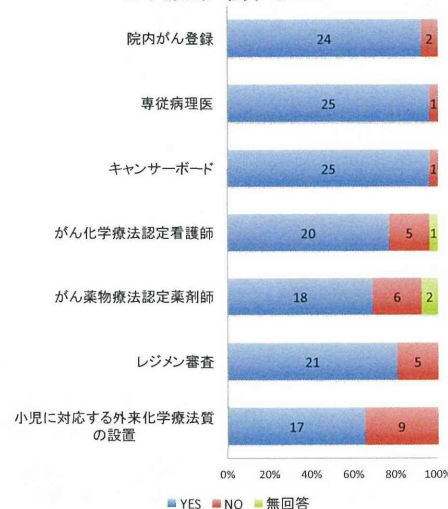


がん治療認定医

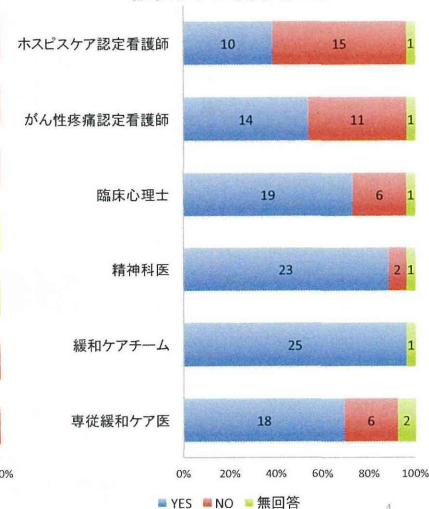


がん診療連携拠点病院の要件達成状況

化学療法に関すること

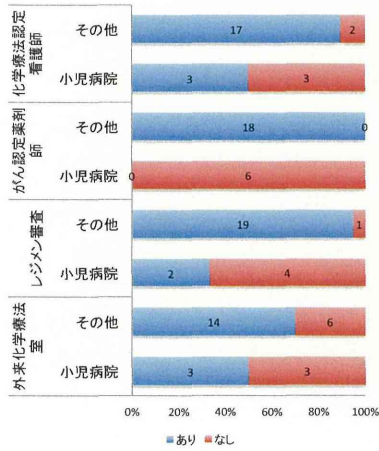


緩和ケアに関すること

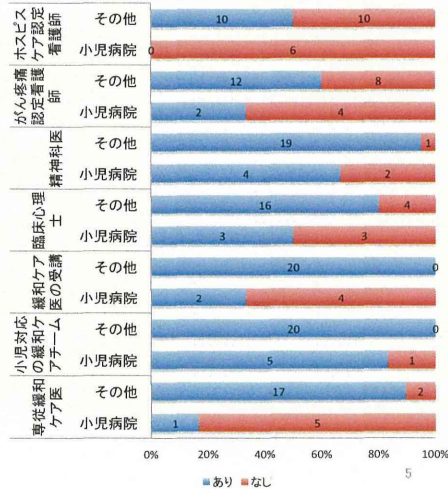


小児病院とがん診療連携拠点病院の要件の達成状況の比較

化学療法に関すること



緩和ケアに関すること



小児診療に必要な要件の達成状況

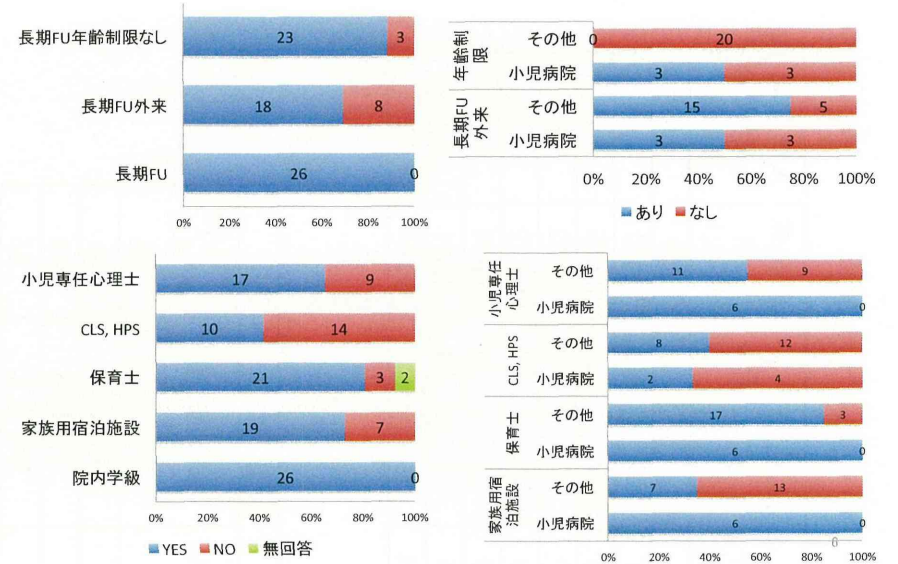


表1. 地区別小児がん診療医師数とその経験年数

地区名	小児がん診療経験年数						合計	0-14歳 人口 (千人)	人口10万 人あたりの 医師数
	30年 以上	20~29 年	10~19 年	5~9 年	5年 未満	未記入			
北海道	1	3	4	3	5	1	17	650	2.62
東北	4	7	13	8	11	0	43	1,167	3.68
関東甲信越	17	41	49	37	54	23	221	5,655	3.91
東海北陸	5	15	23	20	40	13	116	2,622	4.42
近畿	6	22	39	17	46	21	151	2,772	5.44
中国四国	4	12	18	17	23	5	79	1,500	5.27
九州・沖縄	3	12	21	12	15	0	63	2,041	3.09
合計	40	112	167	114	194	63	690	16,407	4.21

人口統計:平成23年10月1日現在

表2. 地区別小児がん関連専門医取得者数

地区名	施設数	未回答 数	専門医数		
			小児血液・がん 暫定指導医	血液専門医 (1施設あたり)	がん治 療認定 医
北海道	6	1	8	12 (2.4)	4
東北	11	0	11	17 (1.5)	10
関東甲信越	47	3	67	105 (2.4)	45
東海北陸	23	3	21	41 (2.0)	9
近畿	33	0	29	52 (1.6)	26
中国四国	21	5	16	24 (1.5)	12
九州・沖縄	19	1	15	29 (1.6)	11
合計	160	13	167	280 (1.9)	117

小児がん患児家族の実態調査報告(2012年2月)
財団法人がんと子供を守る会

【調査の概要】

2011年7月より10月にかけて、小児がん患児家族の実態を明らかにし今後の小児がん医療整備に反映していくことを目的に小児がん患児家族に対する実態調査を行った。これまで、財団法人がんと子供を守る会（以下当会）では、1973年、1986年、2002年の3回にわたり会員を対象に会員実態調査を行っている。
本調査は当会調査研究委員会による倫理審査を経て行った。

<方法>

平成23年7月の当会会員への所属調査にて「患者家族」と返信のあった522名、2009年・2010年度に当会の療養費援助事業による助成を受けた小児がん患児家族483名に郵送にて計1,005通の実態調査用紙を送付し、匿名による回答及び返信を依頼した。また、別途、全国の小児がん経験者の会、および小児がん親の会に本調査への協力をもとめ、匿名による10名の協力を得た。

調査用紙は、全27ページ、137の質問項目を選択肢からの選択、及び自由記述により意見を伺う形式で、質問は、時系列に以下の7つに分けて構成されている。

- A)発病から病名確定までの経過
- B)入院中の諸問題
- C) 外来通院中の諸問題
- D) 療養上の諸問題
- E)現在の患児について
- F) 末期時から亡くされた後までの経過
- G)今後の小児がん医療体制について

<返信および集計>

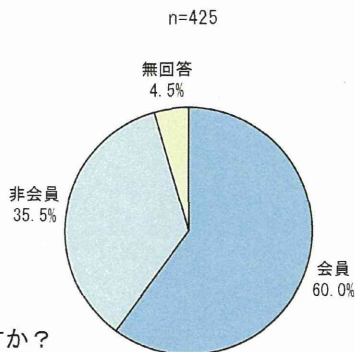
2011年10月31日までに、650通の返信があった（回収率60.7%）。

回答を質問項目ごとに単純集計し、さらに、地域（全国を8ブロックに分類）、きょうだいの有無、入院当時の年収の3項目についてクロス集計を行った。

なお、本報告では、質問項目ごとの単純集計は、治療開始年が2000年以降と回答された425通を対象に行った。一方、自由回答、及びクロス集計については、全650通を対象として集計した。

<結果>

1. 本アンケートの回答者は当会会員の方ですか？



2. 本アンケートの回答者はどなたですか？

